



# 恭賀新年

今年も一年 よろしく願っています

## 2012、13年度 J I A 東海支部静岡地域会 役員選挙結果報告

2012、13年度 J I A 東海支部静岡地域会役員選挙結果

日本建築家協会東海支部  
静岡地域会 ( J I A 静岡 )  
選挙管理委員長 大石郁子

2012、13年度 J I A 静岡役員選挙に関して、12月6日選挙管理委員会を開催し、先に登録された3名の候補者の届出書を精査し、次の3名を2012、13年度 J I A 静岡役員の当選人として確定しました。(敬称略)

江川静男

鈴木俊史

高橋雅志

なお、役員欠員2名及び監査につきましては、第9条2項及び4項の規定により当選役員が正会員のうちから指名することになります。

# \* INFORMATION \*

## 登録建築家特別講習会（名古屋開催）

JIA 東海支部において「登録建築家特別講習会」が開催されます。この講習会は 4 時間の受講で必須履修分野（倫理・法令分野）8 単位が取得できます。通常の講習会の 2 倍の単位が取得できます。また、この講習会は 2012 年 4 月 1 日に更新日を迎えられる登録建築家の方だけでなく、どなたでも受講できる講習会となっております。詳細につきましては、下記 URL をご覧ください。

<http://www.the-japan-institute-of-architects.com/new/index.cgi#id25>

なお、同様の講習会を東京でも 3 月中に開催される予定です。また、名古屋開催と東京開催の両方を受講すると、それぞれ 8 単位となり、合計で必須履修分野（倫理・法令分野）16 単位を取得することができます。

## 「イブニングレクチャー2011 冬」開催（1月16日開催）講師 隈研吾氏

静岡文化芸術大学では、建築家隈研吾氏を講師にむかえ、「イブニングレクチャー 2011 冬」を開催します。このレクチャーは、本学の文化・芸術研究センター長特別研究として実施されるものです。

日 時 2012 年 1 月 16 日（月） 18 時開場 18 時 30 分開演

会 場 静岡文化芸術大学 南棟 1 階 176 大講義室

入 場 料 無料

申 込 不要

定 員 市民席 70 席

講 師 隈 研 吾 氏（建築家/東京大学教授）

講演内容 有機的な建築 3・11 後の新しい建築と人間の関係を問い直す

※ 本講演会は 録音・録画・写真撮影は禁止

問 合 静岡文化芸術大学 デザイン学部 空間造形学科 中山研究室 E-mail : s\_naka@suac.ac.jp



## 静岡県関連 2 件

### ①静岡県建築確認等申請手数料改正

静岡県手数料徴収条例が改正され、平成 24 年 4 月 1 日より施行されます。県内の他の特定行政庁においても手数料の改正を予定。詳しくは直接問合わせのこと。

改正手数料 <http://www.shizu-shikai.com/metas/view/359>

### ②静岡県共同利用電子入札新システム説明会開催

静岡県共同利用電子入札システムが新しくなり、それに伴う入札参加者向け説明会が開催される。

日程等 <http://www.cals-shizuoka.jp/ec/>

問合先 静岡県交通基盤部建設支援局技術管理課 OA 効率化班

電話：054-221-2128（受付時間：9:00～12:00・13:00～17:00）

2 月 4 日(土)静岡おまちバル開催 <http://www.omachibar.com/>

# 気仙沼市魚町・南町内湾地区復興まちづくりコンペ

## 1 趣 旨

古くから「屋号通り」や「昭和モダン」と呼ばれる港町繁華街の雰囲気伝える街並みが形成され、港町気仙沼の顔、中心市街地として港町文化を発信してきた魚町・南町内湾地区の復興再生に当たり、津波からの防災と減災を考慮しつつ、全国的に注目を集めるウオーターフロントのまちづくりに向け広くアイデアを募集し、より幅広い視点から検討するためコンペを開催するものです。

## 2 対象地区 気仙沼市魚町・南町内湾界限

## 3 提案内容 次の事項を含む、魚町・南町内湾地区のまちづくり及び実現するための方策を提案 (1) まちづくりのコンセプト (2) 将来フレーム (3) 将来構想 (4) 実現化手法 (5) 事業スケジュール

## 4 主催者

気仙沼市（事務局：気仙沼市震災復興推進本部内 魚町・南町内湾復興まちづくりコンペ事務局）

## 5 提出内容

- (1) 提出書類 ボード貼り：A 1判2枚以内、紙質自由  
提案説明書：A 4判10枚以内（表紙を除く）2部  
(2) 提出内容 表現方法は自由  
（ただし、将来像を示す平面図、断面図、スケッチを含むこととします。）

## 6 著作権等 著作権は応募者、使用权は主催者・事務局に帰属する。

## 7 提案の取扱い 今後、行政や地元が検討する魚町・南町内湾地区復興まちづくり計画等の参考にする。

## 8 賞 最優秀賞1点・優秀賞2点・佳作5点程度

## 9 審査方法

有識者、地元関係機関、地元自治会・地元商店街等から審査委員を選出し、提案書の形式審査及び書類審査を行う。

## 10 応募

- (1) 応募資格 国籍、資格及び個人・グループ等は問いません。  
(2) 応募方法 応募期間中に事務局宛てに定められた様式に従って応募書類を提出してください。

## 11 スケジュール

募集要項配布	平成24年1月 5日（木）～
質問受付／回答	平成24年1月 5日（木）～20日（金）
応募意向提示期限	平成24年1月27日（金）
提出書類受付	平成24年2月20日（月）～24日（金）
応募作品審査	平成24年3月上旬
入選発表／表彰	平成24年3月上旬

## 12 その他

- ・質問は、上記「質問受付／回答」期間内に、質問フォーマット、または電子メールにて受け付けます。  
（電子メール宛先：[t-toshiseibi@city.kesenuma.lg.jp](mailto:t-toshiseibi@city.kesenuma.lg.jp)）
- ・質問内容および回答は、質問者とあわせ、随時ホームページ上で公表します。

## ※問合せ先

気仙沼市建設部都市計画課 都市整備係 TEL 0226-22-6600 内線582

電子メール [t-toshiseibi@city.kesenuma.lg.jp](mailto:t-toshiseibi@city.kesenuma.lg.jp)

気仙沼市企画部企画政策課 復興計画・企画係 TEL 0226-22-6600 内線313 FAX 0226-24-8605

電子メール [kikaku@city.kesenuma.lg.jp](mailto:kikaku@city.kesenuma.lg.jp)

# 2011年度日本建築家協会優秀建築選 公開審査会

2005年の賞創設から毎年恒例の行事となっております、優秀建築選の公開審査が本年も開催されます。公開審査という独特の緊張感の中、日本建築家協会においてその年を代表する作品である日本建築大賞1点と、日本建築家協会賞数点がこの日決定されます。(CPD 5 単位)

日時 2012年2月5日(日) 13:00~17:45

次第 挨拶・経過報告  
プレゼンテーション

審査

発表

審査委員講評

プレス発表(17:45~18:15)

会場 建築家会館1階大ホール(渋谷区神宮前 2-3-16)

入場料 無料(定員 100名)

申込 件名を「公開審査出席」とし、以下のアドレスに名前を連絡 [kwatanabe@jia.or.jp](mailto:kwatanabe@jia.or.jp)

審査委員 石堂 威(都市建築編集研究所)・斎藤 公男(日本大学理工学部)・三宅 理一(藤女子大学)

候補作品 作品名(発表者) 所属

○Looptecture 福良/ 福良港津波防災ステーション (遠藤秀平) 神戸大学大学院

○諫早市こどもの城 (池田賢一 千葉学) 池田設計 千葉学建築計画事務所

○森のすみか/nest (前田圭介) UID

○杉浦邸/ 多面体 岐阜ひるがの (横河健) 横河設計工房

○ホキ美術館 (山梨知彦 中本太郎 鈴木隆 矢野雅規) 日建設計

○豊島美術館 (西澤立衛) 西澤立衛建築設計事務所

問合わせ 社団法人日本建築家協会 事務局担当: 渡邊 (Tel: 03-3408-7125 Fax: 03-3408-712)

## JIA建築家大会2012横浜 開催決定!

テーマ: 「共に超える」

会期: 2012年11月29日(木)、30日(金)、12月1日(土)

会場: 神奈川県民ホール、BankART Studio NYK 等

主旨: 「Beyond Disasters, through Solidarity, towards Sustainability」のメッセージを掲げ、UIA2011東京大会(第24回世界建築会議)は2011年秋に世界中から5,000名以上の参加者が集って開催された。今から1年後の2012年11月末、全国の日本建築家協会(JIA)会員が横浜に集い、建築並びに建築家が担うべき社会的役割について一般市民と共に考え、共に育むために議論の場を設け、社会へ示す機会としてJIA全国大会を開催する。東日本大震災により見直された新たなパラダイム(価値観)に基づき、日本文化の再興が求められている。震災から1年を経た2012年度は多くの復興計画の立ち上げが進むことだろう。今から1年後の大会開催を見据え、復興の在り方について、安全、安心というハードな復興計画に加え、未来に残すべき記憶と文化の大切さを一般市民と共に考えていく。被災した東日本地方に限らず将来の大災害が予想される全ての地域において、共にこの時代を超えていく道筋を探る大会とする。3.11後の時代に相応しく、また新公益社団法人として活動していく新生JIA全国大会の規範となる大会運営を目指していく。

JIA静岡NEWS制作協力

**(株) 静岡コピーセンター**

〒420-0838 静岡県静岡市葵区相生町 6-16

TEL054-245-6261 FAX054-247-9130

<http://www.s-copy.jp/>

オリジナル図面用角筒

